

10年度 育友会定期総会 活発な育友会活動に向け 論議

菅沼 堅吾会長を再任



専修大学育友会定期総会

▲ 2010年度の新役員が紹介された

2010年度育友会定期総会(菅沼堅吾会長)が6月5日、生田キャンパスで開催された。本部・支部役員と専修大学役員・教職員など176人が出席、会長に菅沼堅吾氏が再選された。

総会は三谷啓子副会長の司会で進行。菅沼会長からこの1年間の事業推進に対するお礼が述べられ、続いて日高義博理事長・学長が「黒門の復元や英語翻訳本の刊行など、



あいさつする 日高理事長・学長

りません。学生が実社会に出ても継続されます。そのためには学生を基本に据えた大学づくりが大切と考えています」とあいさつ。来賓の桃野直樹校友会副会長のあいさつ

のあと議事に入った。議事は、「09年度事業報告・同決算報告」がな

された。「学生に対する援助」などが盛り込まれた「10年度事業計画(案)」

125人参加し全国支部長会
円滑な支部運営へ意見交換
翌6月6日、生田キャンパスで開かれた全国支部長会、本部役員、支部長会、本部役員、支



▲ あいさつする庄菊博主任教授

保男総務部長が校友会について説明し、一層の連携強化を求めた。最後に、生田キャンパス前に復元された「黒門」に移動し、出席者全員で記念撮影を行った。

はじめに菅沼会長、田中実務理事、庄菊博主任教授(法学部教授)があいさつ。菅沼会長を議長に議事が進行され、事務局から支部活動交付金、支部活動特別

必要な情報を確実に会員へ

昨年度に続き、全国1万8000人の育友も広げたい」という夢の現へ一歩近づいた。私たちが親も、夢を見ていいのではないだろうか。1年前の「育友会の原点」を再確認し、会長就任時に語った言葉だ。

2期目の目を務める

菅沼 堅吾



「その精神を、世界に強調。支部懇談会の充実、就職活動支援やスポーツ応援の推進も。一箱根駅伝の応援は、子どもも親も一緒に繰り出せるようになった。東京新聞の社会部、政治部を中心に新聞記者生活30数年。現在、編集局長。撮影中の映画『学校をつくる』(原作『蒼鷹の獅子たち』)の長野ロケでは、朝刊業務を午前3時に終え、商学部2年次の三男と共にエキストラとして出演した1面に記事。

集団の中の「個」



今年もキャンパスを歩き交う学生たちや、そこで談笑する学生たちで、我が専大も賑わっています。まるで、「個」が重なり合っているかのように、いくつもの巨大な塊が動き回っているかのようです。迫力ある種の生命力を感じますし、大学たるものさうでなければいけません。でも、ほんの少し、心に引っ掛かるのです。

相談受付窓口

専用電話・ファクス
044-900-7858
E-mail
sekuhara@acc.senshu-u.ac.jp

防止委員

黒田 彰三 (委員長)
【教員】 岩井 宜子 岡田 もえ 子
岡村 陽子 荻原 幸子 幸子
坂口 幸雄 前川 公男 公男
本江 幸雄 藤 公男 公男
北村 まゆみ 藤 公男 公男
佐藤 公子 福 公男 公男
古瀬 瑞子 福 公男 公男

セクシュアル・ハラスメント防止のために

学生用のパンフレット

安心して学べる

キャンパスづくり

セクシュアル・ハラスメント防止委員会

この委員会の役割は、専修大学という組織内での卑劣な行為を防止し、明るく安心して教育・研究・労働学習ができる場を確保することである。もう一発生した場合の対応である。これは公正として厳格に対処する。防止策の最も重要な点は、通報体制を充実することである。通報者の秘密は守られなければならない。また加害者と言われた人を安易に犯人扱いしは絶対できない。両者の人権を守りつつ、厳正な解決を導くことにより明るいキャンパス、安心して働き学べる場になるのである。

宮崎県口蹄疫発生により被害を受けた学生の方へ

このたびの、宮崎県学生の方へできる限り支援を行いたいと考えております。該当者は各担当窓口へ申し出てくださいます。

【高校生向け 講座情報】

◆ 経営学部
「高校生のための経営学実践講座」夢を力に変えるための英語学習

「安心して学べる」

キャンパスづくり